'94土佐のまほろば祭り 今、時の語りべのなかで

祭りに南国市らしさを……と、今年のまほろば祭り、新しい取り組みがいくつかされました。

国府史跡保存会の紀貫之関係文書展示コーナーは、まほろばの里国分、その史跡展示ということで大きな成果を収めたようです。

その傍らには、田村遺跡名残りの弥生人の高床式倉庫も展示され、美しく、風格ある姿を見せていました。これもまた、南国市の宝。

舞台でのクライマックスは、青年と子供たちによる劇「今、時の語りべの中で……」。比江廃寺跡に残る基礎石の謎の解明、古事記、日本書紀の時代の南国市での出来事と推定される事象の紹介もあり、観客は十分南国市らしさをたんのうしたようでした。

劇「今、時の語りべの中で……」の1場面

出店の方では、高知大学農学部と高知医大で学ぶ外国人留学生が、手作りお国自慢料理を披露。中国水ギョーザ王とフィリピンのビコ、珍しい食べ物とあって、長蛇の列。売れに売れてどちらも完売。言葉は完全には通じないものの、市民とのコミュニケーションは最高。二度、三度と繰り返し買い求める市民もいて、留学生も大喜び。

外国での学生生活。いろいろな活動があることでしょう。今回の祭りへの参加も、一つの思い出となって彼らの心に残ってほしい、南国市を覚えていてほしいものです。

◀RKCラジオの取材を受ける中国水ギョーザ屋

その他にも、口の川の名水を使った地酒「貫之」を売り出そうと計画。いくつかの候補の中から、南国の地酒としてふさわしいものを市民の投票で選ぶというコーナーもありました。今年十月ごろ、初醸造の予定で、これから南国市の名産として広く普及することが期待できるのではないでしょうか。

また、姉妹都市宮城県岩沼市からも、昨年にに引き続きまほろば祭りに参加してくれました。今年は、まほろば祭りに参加する会（婦人団体）と小学生女子バレーボール総勢五十人。岩沼タイムでは、仙台七夕おどりや岩沼音頭、南国市の婦人との共演でよさこい鳴子踊りを見せてくれました。

南国・岩沼両市婦人によるよさこい鳴子踊り

たくさんのお客さんを迎え、大成功のうちに幕を閉じた今回のまほろば祭り。南国市らしさを打ち出し、市民の祭りとして、今後の方向づけができたのではないでしょうか。

熱戦を展開

姉妹都市岩沼市から、小学生女子バレーボール選抜チーム2チームを迎え、8月7日、交流試合を行いました。南国市からは6チームが参加。交流試合とはいえ選手たちは真剣。随所に好プレーが飛び出す熱戦を繰り広げました。

岩沼市の選手たちは、6日から8日までホームステイをし、試合意外の場所でも交流。平成13年の宮城国体、14年の高知国体で、再び海を会わせるのが楽しみです。

▲7月23日、奈路小学校体育館でASなろコンサートが開催されました。世界を舞台に活躍する梅津和時とシャクシャインを迎えてのこのコンサート、奈路地区住民で組織するAs奈路倶楽部が主催。詰め掛けたお客さんも存分に楽しんでいました。

▼7月21日早朝、市役所駐車場で、「地域安全活動総ぐるみモーニング集会」が行われました。これは、警視庁の地域安全活動パイロット地区に、南国市が指定されたのをきっかけに、住民の連帯感を深めようと行われたもので、約200人が参加。これから安全で住みよい地域づくりを目指します。

▲7月17日、海岸一斉清掃が行われ、周辺の住民ら約1,500人が参加。ビンや缶、漂流物などを回収しました。また、同日物部川でも一斉清掃が行われ(写真)、少年サッカーチームなどから300人ほどが参加。清掃後、自分たちの手できれいにした河川敷で、サッカーの大会が開かれました。

▶7月18日、市内のひまわり幼稚園の園児50人が、6月にオープンしたばかりの老人保健施設「夢の里」を慰問。手作りうちわのプレゼントや、踊りなどでお年寄りと交流しました。

ひまわり乳業を見学中

◀八月四日、商工会青年部の主催で小学生のための企業訪問が行われました。参加した四十五人は、市内の五企業を訪問。ノートを取るなどして、熱心に学習していました。

▼長年、人権擁護委員を務めてくださった田内松治さんがこの任期で定年となるため8月11日、市役所で感謝状が贈られました。同時に、後任の竹内勝造さんに委嘱状が授与されました。

▲東京の警視庁武道館で開かれた全国警察少年柔道大会で、高知県代表の和田道場（岡豊町）が見事優勝。4日岱路帰高したメンバーの優勝歓迎会が、空港ロビーで行われ、出迎えた父母らに優勝の報告をしました。

▶七月二十六日市保健福祉センターで、第一回高齢者料理教室が行われました。これは市食生活改善推進協議会の主催で男性八人を含む二十人が参加。調理場は楽しそうで参加者には好評、料理もなかなかのできばえでした。

◀岡豊町八幡のガソリンスタンドが冷たくておいしい井戸水の無料サービスをはじめました。この井戸水「まほろばの水」と命名され専用蛇口を設置、営業時間内ならいつでもくめます。

◀十市パークタウンの入居にともなう乳・幼児の急増に対し、市が進めていた十市保育所の増設工事がこのほど完成。8月11日に落成式典を行いました(写真)。新園舎は、平金積立金還元融資を受け増築したもので、木造平屋建て床面積122.56㎡。

また、この日、平成学園が緑ヶ丘1丁目に来春開園へ向け、私立アトム幼稚園の起工式を行いました。